

福祉を学ぶ高校生の姿を地域に発信 地域福祉の担い手とともに育てる

高校生地域ふくし実行委員会

活動の目的

福祉を学び真摯に利用者と向き合う高校生の姿を地域の方々に広く知っていただき認めてもらうことで、高校生自身に地域福祉の担い手となる自覚を芽生えさせ、地域に貢献する人材の育成を地域とともに行う。それにより高齢者だけでなく誰もが住み慣れた地域で「ふだんのくらしのしあわせ」を追及することができる社会を目指す。

活動の内容及び経過

- 介護技術コンテスト
 - ・期 日：令和2年6月26日（金）…中止
- 生徒体験発表会・講演会
 - ・期 日：令和3年1月13日（水）…書類選考に変更
講演会中止
 - ・発表生徒：7校12名
- 交流会・ボランティア活動（各校で実施5月～2月）
学校ごとに地域でボランティア活動を実施

活動の成果・効果

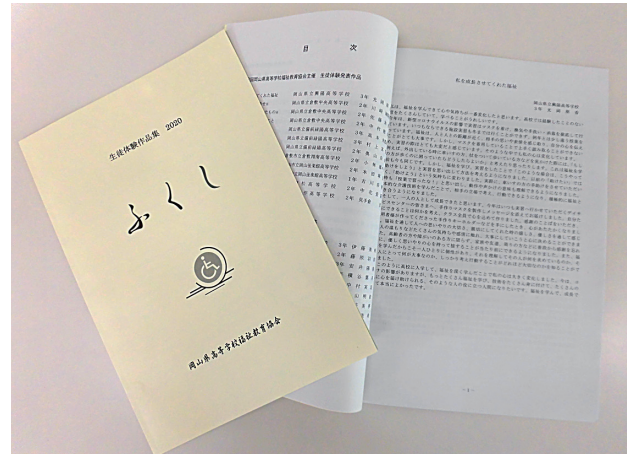
新型コロナウイルスの影響で、介護技術コンテストは中止となったが、生徒体験発表会は書類選考で実施することができた。岡山県代表として岡山県立倉敷中央高等学校の2作品を中国地区大会に応募し、そのうち1作品は1位となり、全国大会へ応募されることが決定した。生徒の学習成果発表の場を持つことができた。

今後の課題と問題点

新型コロナウイルス感染予防策をとりながら、生徒の活動の場を確保していくことが課題である。

岡山県や全国の感染者数の状況によって、計画を変更していくことになるので、不確定要素が多く、準備が難しいという問題点がある。

- 代表者：姫路真由美 ●所在地：倉敷市児島稗田町
- TEL：086-473-4240 ●E-MAIL：kurashiki@shonan.ed.jp
- URL：http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/syounan-h/
- 設立年：2018年 ●メンバー数：16名



生徒体験作品集2020『ふくし』発行